

前藤里町長 石岡錬一郎氏「旭日双光章」受章 国保税率は据え置き

6月議会定例会が6月17日から20日までの4日間にわたり開催され、株式会社藤里開発公社の経営状況報告や、一般会計補正予算など上程された16案件について原案どおり可決されました。



行政報告

◇春の叙勲・高齢者叙勲

春の叙勲において、本町から前藤里町長の石岡錬一郎氏が地方自治功労として「旭日双光章」を受章されました。石岡氏は、平成7年8月の選挙において藤里町長に初当選以来、平成23年8月まで4期16年の永きにわたって在職され、刻々と変貌する政治、経済、社会情勢に対応し、白神山地世界遺産センターの誘致や下水道の整備事業を進めるなど、高邁な政治信念を持って

町政発展のために多大な貢献をされたことが認められての受章です。

また、高齢者叙勲として、元藤里町議会議員の石岡吉松氏が地方自治功労として「旭日単光章」を受章されております。石岡氏は、昭和55年3月の選挙において藤里町議会議員に初当選以来、昭和63年3月まで、連続3期12年間にわたり在職され、町政発展のために尽力されたことが認められての受章です。

おふた方の受章に対しまして、心からの敬意を表するとともに、お祝いを申し上げます。

◇チャレンジデーについて

当町が初参加しました5月28日のチャレンジデーについて、当日は、ご協力団体や企業が開催するイベントに多くの皆様に参加していただき、また小中学校では授業の一環として運動をしていたりなど、おかげさまで参加率は80・7%を達成し、金メダルを獲得、対戦相手でありました「北海道愛別町」に勝利することができました。

町民の皆様からは、多大なるご理解とご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。



◇国民健康保険税の税率

今年度の医療費につきましては、1・3%程度の伸びが見込まれる一方で、一般被保険者の課税標準となる総所得金額は、前年度より11・2%の減少となる見通しとなっています。

これにより、現行税率で保険税を試算すると、417万円ほど当初予算を下回ることとなり、歳入不足が予測されますが、低迷する経済情勢と相まって4月からは消費税も増税されたこともあり、これ以上の被保険者の負担増を求められない現状にあることから、国保基金からの繰り入れにより対応すること、今年度については、税率を据え置くこととしています。

◇農林業関係について

今年の稲作は、降雪量が少な

く、春先の気候も安定したこと、から育苗や耕起作業も順調に進みましたが、日照時間が多かったことから一部苗の葉焼けや高温障害による生育のムラが確認されました。5月に入ってから低温が続く、田植え盛期は平年並みとなりました。5月下旬からは気温も安定して推移しておりますので、今後は適切な水管理による茎数の確保や、病害虫の防除のために「あぜ道」など、稲作の情報を提供していきます。

今年の米の生産数量配分は、昨年より73t少ない2,546t、作付面積では、13・26ha減少し、461・23haが配分されました。

加工用米を含む作付面積は、490・19ha、出荷米については60kgで40,019俵となりました。

また、農地中間管理機構業務の開始や経営所得安定対策の見直し、また政府の規制改革会議によるJAや農業委員会改革案など、農政をめぐる情勢は混沌とした状態にありますので、情報収集に努めて対応にあたっていきます。

次に、林業専用道真土上岱線の開設についてですが、1月上旬に秋田県から打診があり、開設にかかる諸条件を満たし、間